

学校経営報告

1 『学力向上』を図るために（今年度の重点）

達成率 90 以上 高度に達成
80～89 ほぼ達成 79 以下 努力を要する

目 標	具体的取組計画	自己評価（・）課題と対応策（◎）	達成率
・基礎・基本の定着、学ぶ意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・はちおうじっ子ミニマムを活用して社会生活に必要な基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。 ・ドリル型学習コンテンツの活用（漢字の習得 算数の学習内容の習熟など） 毎週水曜日の朝学習（ゴシヨスタ）で全学級実施。 ・算数科では東京方式習熟度別学習指導、ベーシックドリル、放課後補習（1・2年週1回） ・家庭学習習慣の定着及び補充学習の推進 ・教育ボランティアの積極的な導入 ・大型テレビモニターなど ICT 機器を活用した授業展開を行う。（各クラス年間100回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミライシードを定期的に活用したり、満点チャレンジに挑戦したりすることで、全体の7割の児童が、2回目ははちおうじっ子ミニマムで国語・算数の両方、もしくは一方の正答が増えた。 ・タブレットを活用したドリル型コンテンツのミライシードについては、ほぼ予定どおり実施することで学力向上を図ることができた。 ・学習の定着をより高めるために、放課後の時間を活用して補習を行った。 ・教育ボランティアは毎日複数名配置し、複数で授業の見守りを行うことができた。 ・ICT機器を使つての授業展開はほぼ毎日行われ、モニターで教材提示をして授業を活性化することができた。 	85%
・活用能力、探究する力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的、課題解決的な学習の展開（総合的な学習の時間の充実） ・外国語活動・外国語の充実（3・4年生35時間、5・6年生70時間） デジタル教科書を活用した授業展開を行う。 外部人材を活用してのイングリッシュキャラバンの実施 近隣の日本語学校の学生との交流を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも毎日 Chromebook を活用しての授業展開ができた。情報共有アプリ等を活用し、協働的な学びを深める授業を展開した。 ・外国語活動・外国語の時間では、全ての時間に時間講師またはALTを派遣し、授業を行うことができた。 ・イングリッシュ・キャラバンを実施し、4年生以上の児童にイングリッシュデーを経験させ、英語に興味・関心をもたせることができた。 2月26日 ・2年生が開智国際日本語学校の生徒との交流を行い、その後全学級に生徒を派遣し、給食交流会を行った。2月13日 	85%
・感性や創造性を育む活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「読書のまち八王子」の推進 学校司書（毎週木曜日勤務）や時間講師、図書ボランティアを活用して読書活動の充実を図る。 学校司書による読書啓発活動 保護者ボランティアによる各学級への読み聞かせ活動 Chromebook を活用して電子図書の利用 ・地域に学ぶ機会の拡充（郷土学習） 伝統文化体験 お囃子（3年）、車人形（4年）、華道（5年）、茶道（6年）織物のまち体験（3年） 地域環境を活用した学習活動（1・2年 昔遊び、地域巡り、4年 浅川の学習） 八王子空襲の話を聞く会（6年生） 八王子千人同心と宿泊学習との関連（5・6年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回（6月、2月）の読書月間を実施し、朝読書等を継続的に行った。 ・毎月1回、保護者ボランティアによる読み聞かせを行っていただき、読書への興味をもたせた。 ・図書助成を申請し、学校の蔵書数を増やしたことで、自殿の図書館への利用が増えた。 ・地域に学ぶ郷土学習の全てを実施し、児童の郷土理解が進み、郷土愛をもたせることができた。 織物のまち体験（3年） 蚕の繭から糸取り（約1.5km）をして、パネルに巻き付け、生糸の飾りを制作し作品展で展示した。 八王子博物館見学（3年） 2月12日 お囃子体験（3年）2月19日 車人形（4年）オンライン12月23日 民間団体を招聘しての体験活動 2月17日 華道（5年）12月8日 オンライン 茶道（6年）2月18、19日 地域環境を活用した学習活動 地域巡り （2年）6月16、18日、（3年）2月28日 浅川の学習（4年）5月23日 戦争体験語り部事業（6年生）12月19日 八王子千人同心と宿泊学習との関連 静岡移動教室（5年）6月12日～13日 日光移動教室（6年）8月24日～26日 	95%

2 『心身ともに健やかさ（豊かな心の醸成）』を育むために

・自分を大切にし、他者	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の習慣の定着 毎朝、校門や昇降口で教員と挨拶を行うことで、 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教育活動において、挨拶を行う習慣を身に付けさせる活動を行うことで、挨拶ができる児童が増加した。 	80%
-------------	--	---	-----

<p>を思いやる心の育成</p>	<p>挨拶の習慣を図る。また、地域に積極的に働き掛け、自然と挨拶ができるように声掛けをしてもらう。</p> <p>様々な活動の中で、挨拶運動を設ける。(代表児童委員会でも自主的に計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流の推進 たてわり班活動を充実させ、上学年児童に模範を示す態度を、下学年児童には規範意識をそれぞれ身に付けさせる。(年間13回以上) ・「特別の教科 道徳」の授業では、道徳教育全体計画に沿って、「節度・節制」「親切・思いやり」「友情・信頼」「生命の尊さ」「規則の尊重」を重点にし、『考え、議論する』授業を展開する。(各学級年間35回) ・道徳授業地区公開講座の実施 ・人権教育を年間計画に沿って実施し、自他を思いやる心優しい児童を育てる。 ・「学校いじめ防止基本方針」に則ったいじめ防止に向けた取組 毎週1回のいじめ対策委員会の実施 「ふれあい月間」「八王子市のいのちの大切さを共に考える日」の取組 ・不登校児童への支援 家庭の支援ニーズの把握、共有 別室指導の教室を開設。指導員を配置し、安心して過ごすことができる居場所づくりをする。 ・「SNS 東京ルール」の適切な使い方を身に付けさせる。 セーフティ教室(1～6年) メディアリテラシー(6年) ・みどり学級との交流活動 みどり学級と各学年の交流 特別支援教育研修の開催 ・キャリア教育の推進(自己理解、自己管理能力、人間関係形成、社会関係形成能力) 学校探検(1・2年)、町探検(3年)、夢さがし(4年)、職業調べ(5年) 職場訪問(6年)、生活科、総合的な学習の時間 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室の方々が朝遊びの時に、校門で挨拶を行ってくれたおかげで、自然と地域の方と挨拶ができるようになってきた。 ・代表児童委員会が企画し挨拶カードを提示して登校する児童により挨拶を促す活動ができた。 ◎たてわり班活動では、たてわり遊びやアクティブタイムと一緒に活動することで、信頼関係や尊敬の心をもつことができた。ただ、1学期は熱中症指数上昇のためできなかった。(予定も含め年9回実施) ・道徳授業地区公開講座では、時間を分けて全学級授業公開を行い、講演会では、開校90周年記念事業の一環として、各世代の五小卒業生を招き、『ようこそ先輩』と銘打って当時の様子を全校児童、参加保護者の前でお話いただき、児童の愛校心を高めることができた。 ・週1回必ず「いじめ対策委員会」を開催し、いじめの芽の早期発見に努め、児童が安心して過ごせる学校づくりに努めた。情報は保護者とも共有を図り、重大事案を防ぐ努力をした。 いじめ防止研修の実施 4月9日 ふれあい月間の実施 6月、11月、2月 「八王子市のいのちの大切さを共に考える日」に講話を行い、一人で悩みを抱えない気持ちをもたせることができた。 「ありがとういっぱいハート(6月)」 「いじめについて考える道徳授業(11月)」 「ふわふわ言葉川柳(2月)」の活動を通し、自分も他人も思いやる心の醸成に努めた。 ・不登校児童への対策 別室指導員を配置したことで、別室指導の部屋での対応が毎日でき、教室での活動にも見守りをして帯同することができた。これにより安心して学校に登校できる居場所を作ることができた。 ・セーフティ教室を予定どおり行うことで、自分の身の安全は自分で守る行動を身に付けることができた。また、スマホやPCの安全な使い方、ルールを改めて確認することができた。 LINE 出前授業(6年)9月9日 セーフティ教室 (5年) 12月3日 スマホ携帯安全教室 (1・2年) 12月4日 不審者への対応の仕方(連れ去り防止) (3年) 12月9日 万引き防止 (4年) 12月9日 お小遣いの使い方 ・みどり学級児童と所属学級との給食や行事などでの交流活動を行い、互いの理解が進んだ。特に高学年では長年の交流活動の成果が表れ、自然な形でふれあい活動ができていた。 ・キャリア教育の推進 予定も含めて全学年が地域の人材、教材を活用した授業展開ができた。 学校探検(1年)6月2、3、5日 町探検(2年)6月16、18日 地域探検をする中で学区内にある工場を見学してキャリア教育につなげることができた。 スーパー見学(3年)9月3日 お店探検(3年)2月24日 西八王子駅前 夢さがし(4年)3学期 職業調べ(5年)3学期
------------------	---	--

		認知症サポーター養成講座（５年） ３月 13 日 職場訪問（６年）11 月 7 日 西八王子駅前	
・心身ともに健康な生活習慣を確立	・共生の視点を基盤とする「体育・体育的活動の充実」「健康教育」 がん教育（６年）、薬物乱用防止教室（６年） ・家庭への啓発活動「食育」「基本的生活習慣」「規範意識」	・体育の授業や体育的活動、健康教育を通して、健康的な生活を目指す素地を養うことができた。がん教育では、ゲストティーチャーを招聘し、がんを身近に感じることができた。 薬物乱用防止教室（６年）1 2 月 3 日 がん教育（６年）1 月 2 0 日	80%
・危機回避能力を高める指導の充実	・防災・減災教育の推進（総合防災訓練（５月 1 7 日）、避難訓練等の工夫・改善（毎月 1 回）） ・安全教育の推進（交通安全・不審者対応等） ・登下校時の交通安全（地域による見守り） 通学路を歩こう（１年）、交通安全教室（１年） 自転車安全教室（３年・５年）	・年度の初め（５月 1 7 日）に五小地区町会連絡会の協力の下で地域防災訓練を実施することができた。今年度は雨のため体育館での実施となった。避難所の様子を理解したり AED 体験を行ったりすることができた。 ・安全指導や避難訓練を繰り返し行うことで、自分で身を守ることを覚え、児童の交通事故 0 を達成することができた。 ・地域の交通安全協会の方々にお願ひし、交通安全教育を実施できた。 通学路を歩こう（１年）4 月 18 日 交通安全教室（１年）4 月 23 日 自転車安全教室（３年）6 月 18 日 （５年）2 月 12 日	85%

3 『心身ともに健やかさ（体力向上、食育）』を育むために

・体力向上の取組 ・食育の取組	・体力調査を実施・分析し、必要な領域を日々の授業で重点指導する。 ・第五小学校 2020 レガシーの継承 アクティブタイム（年 10 回）オリパラクラブの設置 クライミングウォールの活用 福祉教育の一環としてパラリンピック競技の「ボッチャ」を使用した取組を行う。 ・スポーツ関係者を招聘、または観戦して運動に対する意欲を高める。（年 2 回以上） ・持久力向上 ランランランニング（ランニング大会・2 月 1 5 日） ジャンジャンジャンピング（短なわ、長なわ＜年 3 回の長なわ大会＞） ・芝生を活用した体育授業の実践 ・全学級で栄養や食品に対する理解を深める授業を 実践し、食育を推進する。 （1 年各学級 3 回 2・4 年各学級 2 回 3・5・6 年各学級 1 回 年 2 2 回） ・食の楽しさを味わわせるために、栄養士による 様々な食育指導を行う。 （全学年給食時間に 5 分間指導、おはし大作戦、も ったいない大作戦） ・事前に栄養士による食育指導を受け、児童が昼の 放送で広報活動を行う。（年 1 9 1 回）	・今年度も PTA ボランティアの方の協力を得て、体力調査を実施した。保護者の方にも児童の体力の傾向を見てもらうことができた。 ・五小 2020 レガシー アクティブタイムでは、毎回違う運動を楽しんで行うことができた。（6 回実施） オリパラクラブでは、オリンピック・パラリンピック競技を選び体験することができた。 ・アスリート等によるスポーツ体験・観戦 世界陸上が行われる前の国立競技場に招待され、2020 レガシーを見学することができた。 （6 年）7 月 16 日 東京八王子ビートレインズの選手による出前授業 （6 年）11 月 11 日 武蔵野の森総合スポーツプラザでデフリンピック競技（バドミントン）を観戦 （4 年）11 月 17 日 五小はちっ子マッチデイの開催 八王子ビートレインズの公式戦観戦 1 月 24 日 ・ランランランニング期間には、休み時間に意欲的に持久走取り組む姿があった。地域町会、PTA の協力のもと、ランニング大会を実施した。今年度から 3 年生以上全員のタイムを計測し、完走だけでなく、タイムもめあてにすることができ、様々なめあてももちやすく、自己肯定感を高めることができた。ジャンジャンジャンピング期間では主に短なわの技の習得を一生懸命行っている姿があった。年 3 回の長なわ集会では、練習時から協力し、クラスが一体となるよい機会になった。 ・給食の見本の展示を改め、モニターに映すことで、教室にしながら盛り付けを確認することができたり、本日の給食のトピックを提示したりすることができた。 ・昼の食育放送は欠かさず行うことができ、児童の食への興味をもたせることができた。	90%
--------------------	--	--	-----

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員会で健康に関する活動を行う。 ・みどり学級による八王子の特産物「パッションフルーツ」の栽培体験 		
--	---	--	--

4 『保護者・地域と共に』 歩むために

目 標	具体的取組計画	自己評価（・）課題と対応策（◎）	達成率
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域とのコミュニケーションの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信（Home & School の活用） ・教育相談（スクールカウンセラー）の積極的な活用 ・学校評価の充実 ・授業アンケート、自己評価、行事ごとの保護者アンケート ・家庭・地域の教育力の活用 教育ボランティアの整備（保護者・地域・学生等） ・放課後の居場所づくり 町会の方々のご協力による「放課後子ども教室」の充実 晴雨にかかわらず週5日間実施 長期休業期間中の実施 朝の校庭見守り活動 ・学習支援 年2回の漢字能力検定の実施 放課後補習の拡充・実施（3～6年・スマイル教室） ・学校環境改善への協力・参加依頼 芝生整備 ビオトープの管理 ・地域活動・行事への積極的な参加 ・近隣の幼稚園・保育園と互いの授業・保育を参観し、教職員の交流と情報の共有を図る。（8月） ・次年度入学予定の園児を招いて交流活動を行う。（3学期） ・開校90周年記念事業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新やHome & Schoolでの情報発信を多くすることで、教育活動への理解を深める一端を担うことができた。 ・学校行事ごとに必ずアンケートを取り、次年度に向けての改善計画を立てることができた。 ・教育活動、特に校外活動や集団での校内活動では、多くの保護者ボランティアに参加・協力をいただき、充実した活動になった。 ・地域の見守り活動では、70名の安全ボランティアの方が放課後子ども教室の見守り活動を実施してくださり、保護者のサポートを行っていただくことができた。 ・夏季休業中の放課後子ども教室での昼食提供を実施した。 ・学校運営協議会主催による学習支援活動の充実 漢字能力検定では、意欲的に取り組み、多くの合格者を出した。 1回目（10月25日 48人） 2回目（1月31日 73人） 放課後補習を3年生から6年生までを学年を分けて実施したことで、限られた時間を有効に使うことができ、学習意欲を向上させることができた。（スマイル教室） ビオトープに水田を作り、児童が稲の生長を見ることができた。 ・千人保育園のほか、新たに多摩文化保育園、ピノキオ幼児舎西八王子保育園との連携を図る活動を行うことができた。 千人保育園、多摩文化保育園、ピノキオ幼児舎西八王子保育園へ参観・保育活動体験、その後五小へ招いてのディスカッションを実施した。 8月29日 千人保育園、多摩文化保育園、ピノキオ幼児舎西八王子保育園と架け橋期のカリキュラムを策定し、来年度からの連携の見通しをもつことができた。 千人保育園、多摩文化保育園、ピノキオ幼児舎西八王子保育園来校（1・5年生と交流） 2月17日 ・地域の方々と共にバルーンリリース、航空写真撮影を実施した。 ・児童が中心となり、児童にとって思い出に残る開校90周年記念集会を催すことができた。 ・多くの地域の方々、保護者に参加していただき、開校90周年記念式典を開催することができた。 	95%
<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・七中・七小・山田小との交流 「小中一貫教育の日」を中心に授業参観や研修会、情報交換会の実施 体育祭や合唱コンクールへの6年生の参加 小中共同で行う挨拶運動、ペットボトルキャップ回収運動 はちおうじっ子サミットの推進 学力定着プロジェクトチームでの課題分析、手だて検討 地域活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ◎様々な活動の充実を図り、小中一貫教育の活動を広報したが、学校評価での認知度は92%だった。ホームページ等を活用してさらに認知度を上げる。 七中授業参観（6年）6月25日 4校の教員による授業参観（七小、10月8日 山田小、2月18日） 4校が共通で行うキャリア教育の検討 来年度から地域防災の観点から考えていく。 中学生が母校に行つての小中合同挨拶運動 10月29日～31日 小中合同「はちおうじっ子サミット」への提言 	85%

	キャリア教育の構築	中学校合唱コンクールへの児童観覧 11月6日 生徒会を中心とした「エコキャップ運動」を合 同実施した。	
--	-----------	---	--